

# 又エック News

National  
Women's  
Education  
Center News



2012/7/25

第130号

国立女性教育会館

ISSN 1343-4926



## Contents

改革の先にあるもの	2	調査研究・事業報告・資料の作成	9
「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」について	3	情報ネットワーク	11
平成24年度事業計画	4	お知らせ	12
事業予告・募集	6	●資料展示コーナー	
事業の実施報告	7	●ご利用のお願い	
		●寄附金受け入れの報告・お願い	



## 改革の先にあるもの

独立行政法人 国立女性教育会館 運営委員会委員

しらい あや  
白井 文

大阪府市統合本部では、大都市制度の検討や広域行政・二重行政の仕分けが実施され、男女共同参画センター(クレオ大阪)が見直し対象センターの一つに挙げられました。そして男女共同参画推進月間である6月末に内容が明らかにされました。

見直しの考え方として、女性問題等の相談や情報提供は、地域により身近な場所で行うことが効果的であるとし、事業内容については、男女共同参画に寄与する事業に重点化し効率化を図る、とした上で平成26年度指定管理期間終了後5館全館を廃止、必要とする事業は、区役所・区民センターで実施することと発表されました。(今後の状況を注視したいと思います。)

日本の女性の意思決定過程への参画が国際的に見ても最低水準であること、またDV等については、プライバシーの観点からも個人が特定される状況では相談しにくいこと、専門性の高いスタッフの配置や市内5ヵ所の連携の利点等クレオ大阪の存続については、以前から利用者や女性団体からの強い声が上がっていました。

大阪市の厳しい財政状況が背景にあるものの、存続の声が活かされていないのは、なぜなのでしょう。深く考えさせられます。

私は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団(ドーンセンター)の理事をさせていただいております。

この財団は、平成22年4月、大阪府の財政再建プログラムによって自立化法人になりました。より多くの人達にも門戸をひろげ、理解と賛同を得る中で、基礎自治体のセンター業務を支援・補完してきました。

NWECは創設以来、女性の教育振興を目的にハードとソフトの両面から様々な取り組みを実施し、その結果として地域の女性リーダーが育成され人的ネットワークが生まれるなど多大な成果が上がったと思います。

しかし一方で、日本の女性の地位向上には、まだまだ高いハードルがそびえています。

今後、男女共同参画やダイバーシティの視点もふまえ、どのようなアプローチが求められるのか、ドーンセンターもNWECも役割は、ますます重要だと思っています。

### プロフィール

1979年全日本空輸株式会社入社。1990年に同社を退社し、人材育成コンサルタント活動開始。1993年より尼崎市議会議員を2期、2002年より尼崎市市長を2期つとめる。現在、グンゼ株式会社社外取締役。

### 大切にしている言葉

There is always something you can do!  
(どんな時でもできることはある)

# 「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」について

現在、文部科学省に設置された「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」において、NWECの事務・事業の在り方に関する審議が続けられています。

昨年秋に独立行政法人の制度・組織の見直しが実施された結果としてまとめられた「独立行政法人の組織の見直しの基本方針」(平成24年1月20日閣議決定)において、NWECの今後の在り方については、「女性教育及び男女共同参画の推進という政策目標の達成に向けて、本法人の機能、在り方及び効率化に関する抜本的な検討を関係者等の参画を得て行い、平成24年夏までに結論を得る」とされました。

これをうけて、4月より文部科学省に設置された「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」においてNWECの在り方が検討されています。

## (1) 趣旨

「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」(平成24年1月20日閣議決定)及び近年の男女共同参画を取り巻く社会情勢等を踏まえ、国立女性教育会館の機能、在り方及び効率化等について検討を行う。

## (2) 検討事項

- ①女性教育及び男女共同参画に関する現状の検証
- ②国立女性教育会館がこれまで果たしてきた役割や課題の検証
- ③国立女性教育会館の今後の在り方について

## (3) 国立女性教育会館の在り方に関する検討会委員

赤井 伸郎	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
浦野 光人	株式会社ニチレイ代表取締役会長
○大日向雅美	恵泉女学園大学大学院平和学研究科教授、NPO法人あい・ぽーとステーション代表理事
柿沼トミ子	全国地域婦人団体連絡協議会会長、財団法人埼玉県国際交流協会理事長
柏木はるみ	三重県男女共同参画センター所長
堂本 暁子	前千葉県知事
坂東真理子	昭和女子大学長
樋口 恵子	評論家
藤原 和博	東京学芸大学客員教授
山田 昌弘	中央大学文学部教授

(○は座長、計10名)

## (4) スケジュール

- |     |               |             |         |
|-----|---------------|-------------|---------|
| 第1回 | 平成24年4月13日(金) | 10:00~12:00 | (霞山会館)  |
| 第2回 | 平成24年4月20日(金) | 13:00~15:00 | (霞山会館)  |
| 第3回 | 平成24年5月23日(水) | 17:30~19:30 | (文部科学省) |
| 第4回 | 平成24年6月5日(火)  | 16:00~18:00 | (文部科学省) |
| 第5回 | 平成24年6月29日(金) | 13:00~15:00 | (文部科学省) |
| 第6回 | 平成24年7月18日(水) | 10:30~12:30 | (文部科学省) |
| 第7回 | 平成24年8月10日(金) | 16:00~18:00 | (文部科学省) |
- (※毎回、文部科学省HPで傍聴の申し込みを受け付けています)

(5) この検討会の詳細は「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」に掲載されています。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shougai/026/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/026/index.htm)

(6) この検討会の審議状況は、文部科学省ホームページの「報道発表」に適宜掲載されています。

また、審議は公開されており、傍聴が可能です。(第7回については未掲載)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/index.htm)



「事業予告・募集」と「事業の実施報告」に掲載した事業は省略しております。

研修・交流事業

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容
<b>女子中高生夏の学校2012</b> ～科学・技術者のたまごたちへ～ (独立行政法人科学技術振興機構委託事業)	●科学・技術分野に興味・関心がある女子中学3年生・女子高校生、保護者・教員 中高生100名 保護者・教員50名	平成24年 8月9日(木)～11日(土) 2泊3日	科学者・技術者、理工系大学生との対話、交流を通して女子中高生が科学・技術の分野に自分の新しい可能性を見いだすことをねらいとして、合宿形式の体験型サイエンスプログラムを実施する。あわせて、保護者、教員向けプログラムも実施する。
<b>女性関連施設相談員研修</b>	女性関連施設や民間が主催する相談所において女性の悩みに関する相談業務に携わる者 120名	平成24年 10月17日(水)～19日(金) 2泊3日	女性のエンパワーメント支援を目指し、複雑・多様化する女性の悩みに適切に対応できる相談業務の質の向上を図るため、女性に対する暴力や女性の貧困など、喫緊の課題解決に必要な知識・技能取得のための、専門的・実践的な研修を行う。
<b>アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー</b>	行政担当者・NGOの指導者 12名程度	平成24年 10月18日(木)～27日(土) 9泊10日	開発途上国等において男女共同参画の政策策定ならびに政策提言を行う立場にある女性行政・教育担当者、NGOのリーダーを対象に、女性の能力開発に係る喫緊の課題をテーマとした、参加型の実践的なセミナーを行う。
<b>男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)</b>	期間中、国立女性教育会館を利用する団体及び個人 200名	平成24年 11月6日(火)～9日(金) 4日間	女性団体等が相互に参加者同士の交流や情報交換を行える機会を提供し、団体のネットワークづくりを支援する。
<b>大学職員のための男女共同参画推進研修</b>	大学における意思決定組織に所属する教職員等 80名	平成24年 11月29日(木)～30日(金) 1泊2日	社会・地域に大きな影響を与える大学において、男女共同参画が推進されるよう、大学の意思決定組織に所属する教職員等を対象とした研修を実施する。
<b>女性情報アーキビスト養成研修(入門) + (実技コース)</b>	女性史関係者、女性関連施設職員、図書館職員、女性史や女性アーカイブに関心をお持ちの方など 30名(入門) 10名(実技コース)	平成24年 12月5日(水)～6日(木) 1泊2日(入門) 平成24年 12月6日(木)～7日(金) 1泊2日(実技コース)	●入門 女性アーカイブの具体的な保存技術や整理方法を体系的に学ぶ最初の一步として、実務者を対象に、基礎情報を提供する。また、関係者相互に情報交換を行い、ネットワークづくりを進める。 ●実技コース 入門終了後、アーカイブの保存や整理に必要な実技を学ぶ。

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容
男女共同参画の 視点に立った多様な キャリア形成支援研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性関連施設・社会教育施設等の職員</li> <li>●団体・グループ・NPO法人等のメンバー</li> <li>●大学等のキャリア教育担当教職員 等</li> </ul> <p>60名</p>	平成25年 1月10日(木) ～12日(土) 2泊3日	多様な個人のキャリアを男女共同参画の視点から社会と結び付け、長期的な視野に立ったキャリア形成に資するための専門的・実践的研修を行う。
	地方公共団体等との 共同研修 30名	(未定) 1泊2日	会館で実施した上記男女共同参画の視点に立った多様なキャリア形成支援研修を地方の女性関連施設等と共同で行う。
交流学習会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会館の研修・交流事業参加者のうち地域でネットワークを構築している女性団体・グループのリーダー</li> <li>●男女共同参画・女性行政担当者</li> <li>●女性関連施設関係者等</li> </ul> <p>150名</p>	平成25年 2月8日(金) ～10日(日) 2泊3日	地域における男女共同参画を推進するため、会館の研修・交流事業に参加した者が地域に戻って実践したことを報告し合い学習する機会を設定し、各地の先進事例や地域における課題等を共有するとともに、女性関連施設等の関連機関や女性・グループ等の連携・協働の促進に向けての意見交換を行い、ネットワークを形成し、会館と地域との連携を促進する。

## 調査・研究事業

事業名	研究協力者等	達成目標・内容
女性関連施設に関する 調査研究	女性教育・生涯学習分野の研究者、女性関連施設関係者、女性団体リーダー等	女性関連施設の機能の充実・強化を図るため、指定管理、人材育成等新たな課題の実態把握と分析をテーマに5年計画で行う調査研究の2年次として、女性関連施設の災害関連事業に関する実態調査を実施し、報告書を作成する。
地域課題の解決と女性の 経済的自立に関する 調査研究及び プログラム開発	女性教育・社会教育分野の研究者、行政関係者、女性関連施設、団体等	地域活動による経済的自立の促進をテーマに2年計画で行う調査研究の2年次として、起業やコミュニティ・ビジネス支援のための講座を行っている女性関連施設等を対象にプログラムを開発・実施し、報告書を作成する。
男性の家庭・地域への 参画を促進するための 調査研究及び プログラム開発	女性教育・家庭教育・社会教育分野の研究者、行政関係者、女性関連施設、団体等	男性の家庭・地域への参画促進をテーマに2年計画で行う調査研究の2年次として、男性の家庭・地域への参画を促進するためのプログラムを開発・実施し、参考資料を作成する。
男女共同参画統計に関する 調査研究	女性学、ジェンダー研究、統計学分野の研究者等	平成23年度に作成した『男女共同参画統計データブック2012』をもとに、男女共同参画社会の形成に資する女性と男性に関する統計データを女性関連施設等が事業を行う際、企画・運営等で参考となるよう提供の方法等について研究する。
外国人女性の困難等への 支援に関する調査研究	女性教育・社会教育、社会政策、国際協力等を専門とする研究者・行政関係者、実務家・NGO等	外国人女性の抱える困難等の実態と課題解決に向けた教育・啓発をテーマに3年計画で行う調査研究の2年次として、外国人女性の抱える困難等の実態と課題解決に向けた学習活動に関する事例について調査を行う。

## 男女共同参画のための研究と実践交流推進フォーラム (NWECフォーラム)

平成24年8月24日(金)～26日(日)

男女共同参画社会の形成をめざした研究、教育、学習、実践活動を行っている個人、団体・グループの相互交流とネットワークづくりを推進するために「男女共同参画社会への展望」を主題に、「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)」を開催します。

**会場** 国立女性教育会館

(主な内容)

- シンポジウム「女性の活躍による新たな社会の創出に向けて」  
日時: 8月24日(金) 13時～15時 講堂(研修棟1階)  
シンポジスト(五十音順、敬称略)  
小林洋子 NTTコム チェオ株式会社代表取締役社長  
杉本彰子 特定非営利活動法人生き生きネットワーク理事長  
宮田安彦 大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科教授  
コーディネーター  
宗像道子 一般社団法人共同通信社編集委員・論説委員
- ワークショップ 62件(NWEC提供7件、募集ワークショップ55件)  
「第3次男女共同参画基本計画」を参考に設定した5つのテーマ  
①女性のキャリア形成  
②男性にとっての男女共同参画  
③安全・安心と男女共同参画  
④男女共同参画の地域づくり  
⑤男女共同参画の拠点  
に基づき、全国から募集した団体や会館が提供するワークショップを実施します。
- 情報交換、交流の場の設置等の交流推進プログラム

**問合せ先** 事業課 TEL. 0493-62-6724 E-mail. progdiv@nwec.jp

## 「NWEC国際シンポジウム」参加者募集

平成24年10月27日(土) 13時～17時30分

「女性に対する暴力の根絶」をテーマとして「平成24年度NWEC国際シンポジウム」を開催します。ハワイ大学グローバルイノベーション研究センター教授ナンシー・キャラウェイ氏による基調講演のほか、シンポジウムに先立って行われる「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」の研修生による各国の男女平等政策のポスターセッションも行います。

**会場** 独立行政法人国際協力機構 JICA研究所  
東京都新宿区市谷本村町10-5  
(JR中央線・総武線、東京メトロ有楽町線・南北線、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」から徒歩10分)

**対象** テーマに関心のある方100名(先着順)

**申込方法** 10月23日(火)までにFAXまたはEメールでお申し込みください。

**問合せ先** 研究国際室  
TEL. 0493-62-6437, FAX. 0493-62-9034  
E-mail. rese2@nwec.jp

## 平成23年度 交流学習会議

平成24年3月9日(金)～10日(土)

各地の先進事例や地域における課題を共有し、ネットワークを形成するため開催しました。これまでNWECの研修・交流事業に参加した後、地域でネットワークを構築し、実践活動を行っている女性団体・グループのリーダー、男女共同参画・女性教育行政担当者、女性関連施設関係者128名の参加がありました。

1日目は、樋口恵子氏の特別講演「男女共同参画社会の実現に向けて」、神田道子前理事長の講義、NWECからの最新情報の提供、課題を共有するための話し合い等を実施しました。

2日目は、分科会で先進事例の報告とディスカッ

ション、全体会、意見交換会があり、地域に持ち帰って生かせる実践的なプログラム。参加者からは「女性の力がついてきて組織として活動する力が高まっていることを実感させられた」「沢山の全国の方々と交流できて良かった。

ことに、先輩の方々に多くのエネルギーをいただき後に続かねばとの思いを強くした」等の意見が寄せられています。



全体会

## 平成23年度 NWEC男女共同参画プログラム

「今に生きる私たちに、  
ココ・シャネルからの贈り物  
—いつまでもチャレンジする人生—」(第2回)

平成24年1月20日(金)～21日(土)

女性の社会参画に向けたチャレンジを応援する企画であり、特にココ・シャネルが56歳で一度引退したものの、71歳でファッション界に復帰し、87歳で亡くなるまで生涯現役で働きながら常に革新や自由を求め続けた点に注目しました。

参加者は36名で、1日目のプログラムはシャネルの生きた時代背景と歴史の中で衣服のもつ役割や表現性などを幅広くとりあげました。

夜は自由参加プログラムとして、ヌエック・ノットの会(NWEC男女共同参画プログラムの修了生による自主グループ)主催による「なりたい自分を表現するファッションショー」が開催されました。

2日目のシャネルの香水「No.5」や調香師についての講義では、シャネルが香水の世界に持ち込んだ革新や、調香師の世界を知ることができました。最後は高齢社会のユニバーサルデザインとして、個性に合わせた装いをすることで心が元気になることについて、ミニ・ファッションショーを交えつつ、実践的な知識を学ぶプログラムでした。



講義「シャネルNo.5の秘密」

「ダンスでアクティブ・エイジング  
—明日から実践できる方法—」(第3回)  
(日本女子体育大学連携事業)

平成24年3月16日(金)～17日(土)

男女共同参画と健康をテーマに近年注目されている「アクティブ・エイジング」を取り上げました。参加者は34名で、1日目は前半で様々なダンスの映像を見ながら、歴史的・地域的な展開や身体表現としてのダンス、その奥深さや魅力等について幅広く学ぶプログラム。その後、基本的で重要な呼吸法という運動の実技を行い、運動と健康の基礎について講義がありました。

夜は自由参加プログラムとして、「ダンス音楽のコンサート」を開催。講師の演奏に合わせて初めての人も参加者全員がステップを踏み、明るく賑やかなコンサートとなりました。

2日目前半は、韓国茶をテーマにグループで試飲やオリジナルブレンド作りなどを通し、様々な植物の効用を取り入れた韓国茶の魅力学びながら参加者同士が交流を深めました。最後は、ダンスの動きの中から無理なく楽しくできる健康法として、音楽に合わせた誰にでもできる楽しい動きやストレッチなどの実技を行いました。



「健康長寿のためのアクティビティーダンスの動きから学ぶー」坂本秀子先生(日本女子体育大学准教授)



## 平成24年度 家庭教育・次世代育成指導者研修

平成24年5月18日(金)～19日(土)

全国各地から、家庭教育・次世代育成支援・男女共同参画関係の行政担当者、女性関連施設職員・社会教育施設職員、子育て支援に携わる団体のリーダーなどの方たちが参加しました。今年度は、「社会全体で支える子育て・子育て」を主題に、男女共同参画の視点から、家庭を支える社会全体で担う子育て支援の課題の解決に向けた専門的・実践的研修を行いました。

講義・パネルディスカッションや分科会などを通して、特に、子育て支援のあり方とワーク・ライフ・バランスの推進や男性の子育て支援活動への参画、東日本大震災を通して顕在化した災害時の子育て支援などの課題を把握し、社会全体で子育て・子育てを支える取り組みを実践していく上での方向性・方策を共有しました。

また、宿泊研修の利点を活かした夜の情報交換会は、日頃の活動などの語り合いを通して、今後の活動に役立つ関係づくりをはかり、参加者同士の交流やネットワークづくりのきっかけの場となりました。



分科会「家庭を支える社会全体での子育て支援」

## 平成24年度 女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修

平成24年6月13日(水)～15日(金)

研修の中心テーマは、「災害時、地域の人々から頼りにされる組織・機関づくり—東日本大震災を経て—」。全国から132名の女性関連施設管理職、地方公共団体の男女共同参画担当職員、地域の女性団体リーダー等が参加しました。

文部科学省・内閣府・厚生労働省による施策説明、堂本暁子前千葉県知事の講義、コース別分科会の参加型ワークショップ等を通して、参加者はリーダーとして備えるべきマネジメント力やリーダーシップ等について学びました。

また、宿泊研修のメリットを活かし、参加者は夜遅くまで情報交換を行う中で、各々が抱える課題や知見について情報を共有しました。

NWECからは、NWECが実施した「男性の家庭・地域への参画を促進するための調査研究」や、ニューヨークで開催された「第56回国連女性

の地位委員会」について報告されました。この他、コース別ワークショップ、全体討議なども行われ、全体として地域で男女共同参画を実現するために必要な視点や連携・協働のすすめ方、第3次男女共同参画基本計画を実現するための施策・事業のあり方について様々な角度から学ぶプログラムが展開されました。



堂本暁子氏講義  
「東日本大震災を経た今、男女共同参画の視点から日本を見なおす!」



## 『男女共同参画統計データブック2012』刊行



『男女共同参画統計データブック2012 - 日本の女性と男性 -』(独立行政法人国立女性教育会館／伊藤陽一編)を刊行しました。

データブックでは、社会生活を①人口、②家族と世帯、③労働力と就業、④労働条件、⑤企業、⑥生活時間と無償労働、⑦家計と資産、⑧教育と学習、⑨社会保障と社会福祉、⑩健康と保健、⑪安全と犯罪、⑫自然災害、⑬意思決定、⑭意識調査の14項目に分け、男女共同参画の現状についての各種統計データをわかりやすく解説しています。

2012年版では、最新データを提供することはもちろん、2010年12月に閣議決定された「第3次男女共同参画基本計画」の中で重視されている15分野それぞれの〈目標〉〈成果達成〉の数値目標を視野に入れています。さらに、2011年3月11日に起こった東日本大震災に対応して「自然災害」を、ワーク・ライフ・バランスが大きな課題となっていることから「企業」を取り上げていることが特徴となっています。

データに基づいた現状を把握して、男女共同参画社会を進めるために、是非ご活用ください。

**問合せ先** 研究国際室 TEL. 0493-62-6479

**購入申込** (株)ぎょうせい TEL. 0120-953-431, <http://gyosei.jp>  
販売価格 2,800円(税込み) B5判

## 『NWEC実践研究第2号』刊行



『NWEC実践研究』の第2号を刊行しました。

NWECでは「職業キャリア」と「社会活動キャリア」を構成要素とする「複合キャリア」という概念から、女性の生涯にわたるキャリア形成にアプローチしてきました。

今号は「複合キャリア」をテーマとして取り上げ、「複合キャリア」とは何か、「複合キャリアの形成過程」等、その考え方やプログラムを掲載するとともに、NWECの事業や研究報告を紹介しています。

**入手方法** ホームページ  
(<http://www.nwec.jp/jp/publish/record/page01.html>)よりダウンロードできます。

## 平成23年度『NWEC国際シンポジウム報告書』刊行



平成23年10月29日に実施した「NWEC国際シンポジウム」の抄録及び「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」の成果をまとめた報告書です。

平成23年度は国際シンポジウムのテーマを「災害復興とジェンダー」とし、災害復興期の地域再生にはジェンダー視点に基づいた取り組みが不可欠であると捉え、この観点から議論を喚起すべく、国内外から専門家の方々を基調講演者やパネリストとして招へいしました。

第Ⅰ部には、堂本暁子前千葉県知事の基調講演のほか、スリランカやタイ、バングラデシュ、東日本大震災被災地(岩手)での男女共同参画の視点に基づく防災や減災における取り組みを、また、第Ⅱ部では、国際シンポジウムに先立ってNWECが実施した「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」の研修生による、アジア・太平洋諸国での災害復興とジェンダーに関するベストプラクティスも紹介されています。

報告書は日本語版と英語版を刊行しています。

**入手方法** ホームページ  
(<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page37.html>)よりダウンロードできます。

## 『女性関連施設の指定管理者導入施設に関する調査報告・事例集』刊行



平成23年度「女性関連施設に関する調査研究」の報告書を刊行しました。平成15年9月の地方自治法の改正による、公の施設への指定管理者制度の導入から8年が経過し、女性関連施設にも導入が進んだ、指定管理者に焦点をあて、調査研究の結果をまとめたものです。

前半では、導入施設へのアンケートによる、指定管理者の形態、選定手続き、指定期間、実施している事業の範囲、指定管理料の状況、指定管理者としての課題等をまとめました。後半では、都道府県・政令指定都市・市区の自治体規模別、財団法人・NPO法人・企業・異種共同体等といった指定管理者の形態別に選定した14施設のヒアリング調査、事例収集から、事例を掲載しています。

**入手方法** ホームページ  
(<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page41.html>)よりダウンロードできます。

## 『韓国における女性への起業支援と地域の活性化 —韓国調査報告書—』刊行



平成23年度「地域課題の解決と女性の経済的自立に関する調査研究及びプログラム開発」の報告書です。地域課題解決のための活動が、女性の経済的自立につながる課題と可能性について、韓国のコミュニティ・ビジネスと起業支援・再就労支援の調査から明らかにしています。

本調査研究では、地域課題の解決のための女性の地域活動・社会活動が経済的自立につながる可能性と課題を明らかにし、実際に地域でNPO・起業活動を行っている女性、またはこれから行おうという女性を対象にしたプログラムを開発するものであり、こうした課題研究のもと、平成23年度は、先進的なコミュニティ・ビジネスの事例および先駆的プログラムの事例として韓国調査を実施しました。

**入手方法** ホームページ  
(<http://www.nwec.jp/jp/publish/record/page38.html>)よりダウンロードできます。

## 『男性の地域活動および男女共同参画に関するアンケート調査報告書』刊行



平成23年度「男性の家庭・地域への参画を促進するための調査研究及びプログラム開発」の報告書です。全国の女性関連施設との連携協力にもとづく「男性の地域活動および男女共同参画に関するアンケート調査」(地域活動をおこなう男性対象)および「男性を対象とした調査・事業に関するアンケート調査」(連携協力した女性関連施設対象)の結果をまとめたものです。

本調査研究では、質問紙調査の実施にあたり、全国の女性関連施設に協力を呼びかけ、71施設と連携協力して調査を行いました。この連携協力により、単なる調査研究の実施に留まらず、女性関連施設とNWECとが、男性の家庭・地域への参画促進に関する今後の事業展開の基盤づくりを協働で推進していくことをめざしました。

**入手方法** ホームページ  
(<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page39.html>)よりダウンロードできます。

## 情報ネットワーク

### 女性アーカイブセンター企画展示

#### 『建築と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～』のお知らせ

今年度は『建築』をテーマに開催します。

日本における女性建築家のあゆみを、人物紹介、建築模型やパネルなど、さまざまな資料をとおして、紹介します。女性建築家のパイオニアとして活躍した方々の業績をはじめ、現在、活躍する女性建築家まで幅広く紹介します。

開催期間：8月7日(火)～12月9日(日)(休館日をのぞく)

会場：女性アーカイブセンター展示室(本館1階)

開室時間：9:00～19:00

料金：無料

ご案内は、ホームページに掲載いたします。

<http://www.nwec.jp/jp/archive/tenji2012.html>



## 女性教育情報センター資料展示コーナー〈1階エントランス〉

4～6月テーマ

### 災害・原発事故・復興と女性

甚大な被害をもたらした東日本大震災から1年。避難所、仮設住宅に必要とされた女性の参画、原発事故による家族の離散など、問題は山積しています。この1年を振り返る資料から、災害・原発事故・復興と女性について考える資料を展示しました。

7～9月テーマ

### ダイバーシティ社会を目指して

性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できるダイバーシティ社会。日本における取り組みと課題について考える資料を展示します。

展示のリストはホームページに掲載しています。 <http://www.nwec.jp/jp/center/page05.html>

## NWECのご利用のお願い

東日本大震災から1年が過ぎました。NWECにおいては施設や人的被害はなかったため、地震発生直後より避難されてきた方の受入れや臨時宿泊、地元嵐山町住民と連携した継続的な支援などに取り組んでまいりました。

しかし、震災とそれに続く計画停電の影響等により、昨年より会館の施設利用者は大きく減少しました。現在、職員一丸となって、利用拡大に努めておりますが、今年度の特に秋以降の予約状況は、依然として厳しい状況となっております。

NWECは、これから夏の緑の季節を迎え、その後、京都の嵐山を思わせる秋の紅葉と、四季折々の自然環境豊かな中にあります。8月にはNWECフォーラム、11月にはらんざん交流ウィークなど一般の方にご参加いただけるイベントも準備中です。そして、まず何よりもこの恵まれた環境を、1人でも多くの方にご利用いただき、学びや交流の場としての

NWECの存続にご協力をお願いしたいと考えております。

宿泊室・研修室などの施設は、男女共同参画、家庭教育等をテーマとする研修等については、特に低価格でご利用いただけます。また、NWECの専門職員による男女共同参画に関する講義など、研修プログラムに協力させていただくことも可能です。企業の会議や研修、サークルの合宿など、一般利用についても大歓迎です。もちろん、男性のみのグループでも利用に制限はありません。

どうぞお気軽にご利用いただき、NWECをご利用ください。



### 寄附金等受け入れの報告

団体の方から寄附金をいただきました。  
(敬称略)

団体 プロジェクトパッチワーク

### 寄附金のお願い

NWECではより充実した業務遂行の経費に充てるため、寄附金を含む外部資金を受け入れております。今後とも事業の充実、運営の改善及びサービスの向上に努めてまいります。皆様方の温かいご篤志を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### ○寄附金に対する問合せは総務課へ

一定の金額までの寄附金については、法人及び個人の場合ともに税法の規定により所得から控除されます。

### 編集後記

●昨年度は、東日本大震災による夏の電力不足から、「NWECフォーラム」は、10月に開催しましたが、今年度は例年通り、8月に実施できることになりました。今年も多くの皆様方のご参加をお持ちしております。

### 又エックニュース第130号

平成24年7月25日発行

編集・発行 独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

(事業課) TEL. 0493-62-6725 (研究国際室) TEL. 0493-62-6479

FAX. 0493-62-6720 FAX. 0493-62-9034

(情報課) TEL. 0493-62-6727 (総務課) TEL. 0493-62-6714

FAX. 0493-62-6721 FAX. 0493-62-6722

ホームページ: <http://www.nwec.jp/>

E-mail: [webmaster@nwec.jp](mailto:webmaster@nwec.jp)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。